

寄贈者様一覧(順不同・敬称略)2025年1月～2025年12月

東京善意銀行様、ノルコーポレーション様、田中アツシ様、神代総建様、日本児童養護施設財団様、南洋樹様、大和昌史様、植松ヨウコ様、中道緑様、土井ユウキ様、有限会社シグナルポップ様、佐藤敦様、祐成雄司様、調布みらいファーム様、田北千加子様、アサヒ飲料様、カーブスフードドライブ様、内藤大嗣様、世界メシア教聖書普及プロジェクト様、円谷プロダクションウルトラマン基金様、東京都蒔蒔協同組合様、学校法人神戸学園グループ様、コクヨ株式会社様、市万田智子様、安納里恵様、調布市花火実行委員会様、かわの友哉様、野瀬育二様、宮澤マリア様、永井様、佐藤様、HottoMotto様、坂井央人様、株式会社チュチュアンナ様、東京ヤクルト販売株式会社様、株式会社大建設様、植田春彦様、全国シャンメリー協同組合様、株式会社FRAGRANCY様、株式会社メリーチョコレートカンパニー様、株式会社L-ne様、モンテ物産株式会社様

～ご寄付・ご寄贈ありがとうございます。子ども達の為に使わせていただきます。～

六踏園 創立101年目

新学期が始まり2か月が経とうとしており、児童もそれぞれ学校へ元気に通学しております。5月だというのに30度を超える日もあり、夏はどうなってしまうのでしょうかと心配になります。そんな中、児童は外でサッカー、鬼ごっこなど元気に過ごしております。

昨年、法人100周年記念式典を行わせていただき、「つなごう感謝と笑顔」のスローガンのもとに地域のみなさま、ご支援いただくみなさまに感謝し、児童、職員ともに進めております。

また、地域交流センターまんまるでは、放課後の小学生、保護者の方をはじめ、ボッチャ大会、カード大会等、常に地域の方と児童の笑顔あふれる取り組みを行っております。

昨年も地域の方のお声掛け、ご支援があり、児童も職員も成長させていただいてきましたが、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

調布学園園長 篠田陽次

たんぼぼ基金について

この基金は、本園から大学・短大・専門学校へと進学を目指す子どもたちを物心両面から支援する事を目的としています。子どもたちの未来のため、暖かいご支援をお待ちしております。

《賛助会費》年会費1口3000円

2口以上の加入も可

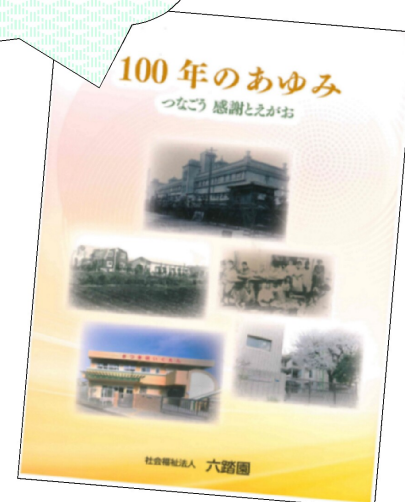
※ゆうちょ銀行備え付用紙に、ご住所・お名前を記入の上、ご送金ください。

振込先

口座名義人：たんぼぼ基金

口座番号：00120-4-292387

社会福祉法人 六踏園 創立100周年を記念して、100年史を刊行しました！
100年のあゆみ つなごう 感謝とえがお



調布学園・第二調布学園広報誌

第25号

2026年 7月



社会福祉法人六踏園

調布学園・第二調布学園

〒182-8533 東京都調布市富士見町3-18-1

TEL 042-483-7611/FAX 042-487-1228

E-Mail jidoyogo@chofugakuen.com

URL www.chofugakuen.com



調布学園つばめ 事業紹介



こんにちは。調布学園つばめ専任職員の山崎です。今回は調布学園で令和7年度より開始した「児童自立生活援助事業Ⅱ型調布学園つばめ」の事業について紹介します。

令和6年4月の児童福祉法改正に伴い、児童自立生活援助事業の年齢上限が撤廃され、事業の実施場所が従来の自立援助ホーム(Ⅰ型)に加えて母子生活支援施設や児童養護施設(Ⅱ型)、里親やファミリーホーム(Ⅲ型)にも拡大されました。この改正によって、より個別に応じた自立支援が出来るようになりました。



私たち調布学園でも児童自立生活援助事業の実施について論議を重ねた結果、調布学園で生活経験のある方を対象に令和7年度より事業名を「調布学園つばめ」として、個人の要望に沿った支援を行っています。支援内容は、生活面や金銭管理、服薬補助など多岐にわたりますが、利用者が最終的に自分のことは自分で出来るようになった上で進学や就職、その後の生活の安定を目標としています。生活場所は個別の事情に応じて決定できるように利用者との面談を通して決めるようにしています。現在利用者数は男女1名ずつの計2名となっております、本園学童寮舎で継続した生活を送っているケース



と自活訓練棟を使用したケースとなっております。利用者2名に対し専任職員は1名となっておりますが、自立支援担当職員と同部署とすることでチーム化し、偏った視点や意見にならないよう意見交換しながら事業運営を行っています。

調布学園つばめは昨年度から開始となった新事業のため今後はより発展的に事業を行っていきたいと思っています。また、「自立する」ということは誰でも難しいことであり、今後も自立支援が必要な社会的養護出身者へ一人でも多く支援が行き届くようにしていきたいと思っています。

2025年 夏季行事

各学年に分かれて、夏季行事が行われました!!
初めて体験する海やアクティビティ、みんなで食べる美味しいごはん。普段は一緒に過ごさない職員や子ども同士、新しい発見や楽しい思い出も出来、各行事素敵な笑顔が溢れていました(´▽`)

年少・年中組

三浦観光に行ってきました！1日目は三浦海岸で海遊びを堪能し、夜は三浦海岸の花火大会を観賞しました。2日目はソレイユの丘へ行き、遊園地や恐竜博物館などを楽しみました。1泊2日の旅行でしたが、年少中には濃い2日間になりました！



年長組

幼児年長は岩井海岸へ行きました。地震の影響で津波警報が出たため、プラン変更で海水浴の時間を減らし、マザー牧場や鴨川シーワールドへ。動物触れ合いやシャチショーでビショ濡れになりながら楽しみました。



小1

千葉県勝浦市にある興津に行きました。海水浴や花火、キャンプファイヤーなど3日間楽しく遊びました。海水浴は最初は怖がる様子もありましたが、3日目には楽しそうに泳いでいました。帰りには海ほたるに寄り、自分好みのお土産を買っていました。



小2

小2夏季行事は大柳川溪谷のハイキングをメインに楽しみ、その他に地元の物を食べたり・アスレチックではいつも以上に皆が逞しく見えました。風穴見学、温泉に行き、宿泊先ではバーベキュー・キャンプファイヤー・花火で充実して楽しい夏季行事でした!!!



小3

新幹線と電車に乗って奈良県天理市へ「こどもおちばがえり」に行ってきました。暑い中、徒歩での移動でしたが疲れを見せず、屋外、屋内での行事、詰所では夜のお楽しみやおやつタイムを思う存分楽しみました！最終日は京都水族館へも行き、最後まで笑顔が絶えない3年生でした！



小4

2泊3日で伊東へ！
海水浴では浮き輪を使ってぶかぶか浮かんだり、網で魚を捕まえたり、砂遊びをしたりと日々楽しんでいました。伊豆シャボテン公園では、動物たちと直接触れ合う体験も！
燦々と照り付ける日差しの中でしたが、充実した3日間を過ごす事が出来ました。



小5

鴨川で海水浴！としかかったんですがまさかの警報や天気に邪魔されてしまい海には入れず。シーワールドは晴れて、シャチのショーでずぶ濡れになりました。海に入りたかったの言葉をバネに来年も楽しんでね！



小6

夏と言えば花火、スイカ割、そして丹沢山系での沢登りですね！急峻な川を、身一つで登っていきます！それに肝試し、BBQ、クライミング、そしてヒルに血を吸われる・・・強烈な思い出が残る小6行事でございますよ。



中1

シュノーケリングをしに2泊3日で館山へ！1日目と2日目は天気が悪く中止に…。3日目でやっと念願のシュノーケリングができました！海水浴の後は温泉に入ったり、宿ではBBQや花火をしたりと夏の思い出をたくさん作れた3日間でした♪



中2

行先は群馬県の上水町。ラフティングやBBQ、花火をして夏を満喫。日本一のモグラ駅である土合駅や温泉に行っ親睦を深める様子もありました。シンプルだけど結局一番楽しい川遊びなど盛り沢山のスケジュールでした。



中3

中3夏季行事は例年の勉強合宿とは打って変わり、“自立”を見据えた行事となりました。チームワークや役割分担の大切さを覚えるボードゲームや自分たちで食材を考え購入するBBQで、楽しみながら自立のための知識を学んでいきました。

